

今夏及び短中期の電力需給に関する情報公開等について  
中部電力株式会社へ要請を行います

このことについて、別添のとおり、本県が中部電力株式会社へ要請を行いますので、お知らせいたします。

別添

中部電力管内の電力需給に関する要請書

---

長野県環境部 温暖化対策課温暖化対策係  
(課長) 中島 恵理 (企画幹) 田中 信一郎  
(担当) 伊藤 賢司

電話 : 026-235-7209 (直通)

026-232-0111 (内線) 2729

FAX : 026-235-7491

E-mail : ontai@pref.nagano.lg.jp

## 中部電力管内の電力需給に関する要請書

今夏の全国の電力需給状況について、政府は「原発の再起動がなく、2010年の夏並みのピーク需要となった場合、約1割（▲9.2%、▲1,656万kW）のピーク不足」が発生すると予測している。（2011年11月1日「エネルギー・環境会議」資料）中部電力管内については、猛暑であった2010年夏並みのピーク需要となった場合、ピーク不足とはならないものの、需給がひっ迫する（1.5%、41万kW）と予測されている。

長野県においては、2011年夏に平日の昼間13～16時の電力需要のピーク時間帯において、最大電力を県全域で2010年比5%削減することを目標に掲げ、県民総ぐるみの取組（さわやか信州省エネ大作戦）により、目標を達成（▲9.3%、▲27.1万kW）した。冬季においても、目標は掲げなかったが、同様の節電取組を県民総ぐるみで展開（▲3.2%、▲9.3万kW）した。

電力需給ひっ迫の政府予測を受け、長野県では今夏も節電取組を予定しているところであるが、県民に過度な負担をかけずに効果的な節電取組を進めていくためには、県民への積極的な情報提供と丁寧な説明が不可欠であると認識している。

とりわけ、今夏及び短中期の電力需給に関する情報については、この間の政府のピーク電力・省エネ対策（昨年度予算合計5,794億円）、電力事業者の供給力積み増し、需給調整契約等による需要抑制、再生可能エネルギー設備や自家発電設備の拡大等を踏まえて、最新の予測に改めた上で、県民の納得が得られるよう、別紙に掲げるその根拠データと併せて早急に公開されたい。

また、需給調整契約の拡大、電気料金の設定方法の見直し、スマートメーター等の活用など、地域経済に悪影響を与えることなく効果的に電力需要を抑制する対策について早急に進められたい。

さらに、電気料金は、県民生活や地域経済に大きな影響を与えることから、コスト抑制の取組の一層の推進と経営情報の公開に努められたい。

平成24年4月20日

中部電力株式会社

代表取締役社長 水野 明久 様

長野県知事 阿部 守一

情報提供いただきたい電力需給に係る根拠データについて

1 ピーク電力について

ピーク電力について、過去5年の月ごとの実績。ピーク電力全体について、2012年度月ごとの見通し。

2 原子力発電所の供給力について

原子力発電所(中電及び他社受電)について、基ごとにそれぞれ過去5年の毎月の供給力実績(万kW)。また原子力発電所各基について、それぞれ2012年度毎月の見通し(万kW)。

3 中部電力の火力発電所の供給力について

中部電力の火力発電所について、基ごとに設備容量、過去5年の毎月の供給力実績(万kW)、2012年度の毎月の供給力予測(万kW)、2012年度の定期検査期間、その他発電所の出力停止あるいは低下になる工事の期間、対象設備容量。供給力が設備容量より小さければその理由。また中部電力の火力発電所の長期計画停止があれば、対象発電所と設備容量。

4 中部電力一般水力発電所の供給力について

中部電力の一般水力発電について、発電所ごとに、設備容量、流込式か貯水式(ダム式)かの区別、過去5年の毎月の供給力実績(万kW)、2012年度の各月の供給力予測(万kW)、2012年度の定期検査期間、その他発電所の出力停止あるいは低下になる工事の期間、対象設備容量。供給力が設備容量より小さければその理由。また中部電力の一般水力発電所の長期計画停止があれば、対象発電所と設備容量。

5 中部電力の揚水発電所の供給力について

中部電力の揚水発電所について、発電所ごとに、上部の池に100%の水を満たして出力100%で発電した場合に何時間発電できるか、上部の池に100%の水を満たすのに必要な電力量(万kWh)、それにより発電できる電力量(万kWh)、ロス割合、設備容量、過去5年の毎月の供給力実績(万kW)、2012年度の各月の供給力予測(万kW)、今年度の定期検査期間、その他発電所の出力停止あるいは低下になる工事の期間、対象設備容量。

供給力実績について、各年7～9月の供給力が設備容量より小さければその理由。供給力予測について、設備容量より小さければその理由。また中部電力の揚水発電所の長期計画停止があれば、対象発電所と設備容量。

6 中部電力の再生可能エネルギー発電所の供給力について

中部電力の再生可能エネルギー発電所について、種類ごと発電所ごとに、設備容量、

過去5年の毎月の供給力実績（万kW）、2012年度の毎月の供給力予測（万kW）。供給力が設備容量より小さければその理由。またゼロとする場合は、供給力として見込めない理由。

#### 7 他社火力発電所の供給力について

中部電力が受電している10電力以外の電気事業者の火力発電所について、発電所ごとに、設備容量、過去5年の毎月の供給力実績（万kW）、2012年度の各月の供給力予測（万kW）、今年度の定期検査期間、その他発電所の出力停止あるいは低下になる工事の期間、対象設備容量。中電以外にも供給している場合は、中電へのkWベースでの分担割合。供給力が設備容量より小さければその理由。また中部電力が受電している10電力以外の電気事業者の火力発電所の長期計画停止があれば、対象発電所と設備容量。

#### 8 自家発電の供給力について

中部電力が受電している自家発電について、発電設備ごとに、設備容量、過去5年の毎月の供給力実績（万kW）、2012年度の各月の供給力予測（万kW）。中電以外にも供給している場合は中電へのkWベースでの分担割合。供給力が設備容量より小さければその理由。

#### 9 他社一般水力発電所の供給力について

中部電力が受電している10電力以外の電気事業者の一般水力発電について、発電所ごとに、設備容量、流込式か貯水式（ダム式）かの区別、過去5年の毎月の供給力実績（万kW）、今年度の各月の供給力予測（万kW）、今年度の定期検査期間、その他発電所の出力停止あるいは低下になる工事の期間と対象設備容量。供給力が設備容量より小さければその理由。

#### 10 他社揚水発電所の供給力について

中部電力が受電している他社の揚水発電所について、発電所ごとに、上部の池に100%の水を満たして出力100%で発電した場合に何時間発電できるか、上部の池に100%の水を満たすのに必要な電力量(万kWh)、それにより発電できる電力量(万kWh)、ロス割合、設備容量、過去5年の毎月の供給力実績（万kW）、2012年度の各月の供給力予測（万kW）、今年度の定期検査期間、その他発電所の出力停止あるいは低下になる工事の期間、対象設備容量。供給力実績について、各年7～9月の供給力が設備容量より小さければその理由。供給力予測について、設備容量より小さければその理由。また中部電力の揚水発電所の長期計画停止があれば、対象発電所と設備容量。

#### 11 域内の再生可能エネルギー発電の供給力について

中部電力が受電している再生可能エネルギー発電について、種類ごと発電所ごとに、

設備容量、過去5年の毎月の供給力実績（万kW）、2012年度の毎月の供給力予測（万kW）。供給力が設備容量より小さければその理由。またゼロとする場合は、供給力として見込めない理由。

#### 1.2 自家発電からの供給拡大について

中部電力区域の自家発電からの供給の追加可能性について、自家発電の全設備容量（認可、万kW）、そこから受電しているもの、今年度新たに受電を想定している自家発電を差し引いた受電していない自家発電の全設備容量（認可、万kW）。受電していない自家発電のうち、今後受電予定のものとの設備容量、供給力（万kW）を、中電区域とそれ以外に分けて示す。また受電していない自家発電について、中電区域とそれ以外に分け、受電しない理由別に設備容量（万kW）。

#### 1.3 過去の電力消費kW実績について

中部電力の過去の電力（万kW）について、過去5年間の1時間ごと実績、消費側の特別高圧、高圧、電力、電灯別に、過去5年間の月最大値を示した時間の実績。また2012年度の月ごと最大値が予測される時間について、消費側の特別高圧、高圧、電力、電灯別内訳。

#### 1.4 需給調整契約について

需給調整契約の随時調整（切断）について、瞬時調整（切断）、事前通告調整（切断）に分け、事前通告については何時間前か前日かに分け、契約件数と契約kW数。需給調整契約の計画調整について、休日、操業調整、ピーク時間調整など種類別に、契約件数と契約kW数。需給調整契約の拡大予測を、随時調整、計画調整に分け、契約口数とkW。それによるピーク削減見通し。

#### 1.5 消費側の削減対策誘導について

節電で企業、家庭への電気料金優遇をする報奨制度をしていけば、そのしくみ、契約件数、kW数や削減実績。それによるピーク電力削減予測。（行っていないければ、今後行う考えがあるか、ある場合はピーク電力削減予測、ない場合は考えない理由。）また、ピーク時間料金設定の考えがある。それによるピーク電力削減予測。（考えない場合には考えない理由。）そのほか、電力会社から顧客への積極的な節電設備投資可能性診断、節電工事支援、事業者紹介などを行っているか、電力会社が顧客の空調機器などの遠隔操作でピークを直接制御する事業を行っているか、行っていないければ今後行う考えがあるか。（考えない場合には考えない理由。）

#### 1.6 発電所ごとの発電量情報について

中部電力の発電所ごとに、過去5年間の月ごとの発電量（億kWh）と設備利用率（加えて火力については基ごとに発電効率）、2012年度の月ごとの発電量（億kWh）予測。中部電力が受電している他社の発電所ごと、内訳がわからない場合は会社ごと

に、過去5年間の月ごとの発電量(億kWh)、2012年度の月ごとの発電量(億kWh)予測。

#### 17 消費側の電力量構成について

中部電力の電力量(億kWh)について、消費側の特別高圧、高圧、電力、電灯別に、過去5年間の月ごとの実績。また消費側の特別高圧、高圧、電力、電灯別に、今年度の月ごとの予測。

#### 18 発電種別コストについて

過去5年について、毎年の経費の値及び毎年の発電単価(kWhあたり)、について、原子力、石炭火力、石油火力、LNG火力(従来型)、LNG火力(コンバインドサイクル)、一般水力、揚水発電、再生可能エネルギー、他社融通、他社購入に分けてそれぞれ示されたい。過去5年の毎年の燃料費と燃料消費量について、原子力、石炭、石油、LNGに分けたデータ。過去5年の毎年の発電単価の内訳(設備費や減価償却費、燃料費、運転維持費、その他)別に、原子力、石炭火力、石油火力、LNG火力(従来型)、LNG火力(コンバインドサイクル)、一般水力、揚水発電、再生可能エネルギーに分けたデータ。

#### 19 消費側の単価と収益構成について

過去5年の毎年の販売電力単価(固定と従量の混合ではなく、kWhあたりに直したもの)を、平均、特別高圧、高圧、電力、電灯、需給調整契約に分けたデータ。過去5年の利益全体と、特別高圧、高圧、電力、電灯に分けた利益額。

以上